

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	こども発達サポート つむぎ			
○保護者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日	～	令和 6 年 11 月 30 日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	11
○従事者評価実施期間	令和 6 年 11 月 1 日	～	令和 6 年 12 月 10 日	
○従事者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○自己評価表作成日	令和 6 年 12 月 24 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	室内と屋外環境があるため、活動の幅が広く様々な内容で提供することができている。	話し合いの場では具体的に案を出し合っていくことで、活動に反映することができている。	常勤の職員だけではなく非常勤職員のアイデアも取り入れ、さらに活動のレパートリーの幅を広げていきたい。
2	職員間でのコミュニケーションが円滑であり、立場関係なく意見やアイデアを出すことができる。	常勤だけでなく非常勤の職員からの意見もしっかりと取り入れて運営を行っている。	どの立場の職員でも発言しやすい環境設定を行ない、より良い療育が出来るよう今後も努めていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	経験年数の差が大きく、支援のスキルに差が出ている場面が見られることもある。	経験年数の差があることで、統一した支援が不十分となっている。スキルだけではなく知識の差もあることで統一した支援の難しさが生じている。	研修参加や勉強会を増やし、全体の底上げを行っていく。様々な場面で職員が経験を積む機会を作っていく。
2	地域の他の児童との交流の場を持つことができていない。	ご利用いただいている時間帯も放課後のため、そのような場に出向く機会が少ない。	保護者の方へ聞き取りを行い、必要があるのかも含めて検討していく。
3	放課後等デイサービスは児童発達支援に比べ、子どもの体が大きく、運動量もある為、少し教室が小さいという声がある。	活動の内容や季節のイベント行事に人が集まるタイミングがあり、その際は狭く感じる。	教室の広さを広げる事は現実的に難しい。運用を見直し、集中したイベントを検討していく。